

光知賞

Touching the Light

アキバタマビ 21 第 60 回展覧会

鈴木泰人・星田大輔・村上郁・渡辺望 <http://hikaruchikakaku.com>

4.29 SAT → 6.4 SUN

12:00 ~ 19:00 (金・土は 20:00 まで) | 火曜休場

●オープニングパーティ&トーク | 4月29日(土祝) 17:00 ~

トークゲスト : 藤原 工 (株式会社灯工舎灯工頭・美術照明家・光文化研究家)

●クロージングパフォーマンス&トーク | 6月3日(土) 16:00 ~

パフォーマー : 市川 平 | 金刺わたる | 久世 孝臣 | 鈴木 泰人 | 丸山 勝之

トークゲスト : 中野 仁詞 (神奈川芸術文化財団学芸員)

アキバタマビ 21 | 3331 Arts Chiyoda 2F 201・202 | <http://www.akibatamabi21.com>

AKIBA
TAMABI 21

光る知覚 Touching the Light

光なくして、人はものをみる事ができません。それゆえ、人は照明という形で光を創り出し、闇を照らすことで文明を発展させてきました。視覚を生み出す照明は私たちの生活になくてはならないものであり、美術においても展示の構成要素や作品の素材のひとつとしてきわめて重要な存在です。網膜が光の刺激を受けると、それが脳に伝わり視覚となります。視覚とは網膜が光に触れることによって生じる触感であるとも言えるでしょう。この触感としての光は、人の感性に直接的な影響を与え、個々人の心の内に豊かな広がりを持って立ち現れているはず。本展では4名のアーティストの作品によって、人々と照明との関わりを見直し、美術における照明のありかたについて検証します。その光は、どのような質感を持って私たちの心に触れるのでしょうか。

鈴木 泰人 SUZUKI Yasuhito

神奈川県生まれ。2011年に多摩美術大学大学院美術研究科を修了。主な展示に、2013年「新津美術館開館展」(新潟)、2015年「水と土の芸術祭 市民プロジェクト小浜戸建プロジェクト」(新潟)、「トランスアーツ・キュー」(東京)、「妄想と存在」(S.P.A. 東京)、2016年「フルマチアート・イン・レジデンス」(新潟)、2017年「真鶴まちなれ」(神奈川県)など。白熱灯と自然光のふたつの光源を用い、絵画を反射光と透過光に晒すことで、見えかたが変化する画面を観客の前に提示する。ときに自然の時間経過により、ときに人為的に、画面は変化させられる。作家によると、白熱灯の光は太陽光に限りなく近い人工の光だと言い、人間の自然な感覚や情動を呼び起こすものとして利用しているのだという。
<http://yasuhitosuzuki.net/>

村上 郁 MURAKAMI Kaoru

東京都生まれ。2004年に多摩美術大学美術学部版画専攻を卒業、2008年にCentral Saint Martins College of Art and Design, BA Fine Artを卒業。主な展示に、2015年「中之条ビエンナーレ2015」(群馬)、2014年「プロジェクト4581」(シンガポール)、2012年「Unknown Life」(東京)、2010年「YAMA YWANT II」(東京)、2008年「群馬青年ビエンナーレ」(群馬県立美術館、群馬)など。古い絵画や写真と単純な自然現象を用いて、他者の記憶の再現可能性と不可能性が出現する作品を制作。近年は観るものと観られるものの心理的力学への関心を出发点とし、他者の記憶を詩的に解釈し、概念的に再現を試みている。
<http://www.kaorumurakami.info/>

星田 大輔 HOSHIDA Daisuke

神奈川県生まれ。2010年に和光大学表現学部芸術学科を卒業。主な展示に、2015年・2013年「中之条ビエンナーレ」(群馬)、2015年「黒川地域アートプロジェクト サトヤマアートサンボ」(神奈川県)、2014年「太郎カアリスvol.5」(TURNER GALLERY、東京)、2013年「これっきりエンナーレ」(東京)など。自然に對峙した際の人の意識や記憶への関心に基づき、映像や照明によって単純化した自然現象を出現させる作品を制作。近年は照明とアートや文化との関係を考えるWEBサイト「光の話」を運営。
<http://daisukehoshida.com>

渡辺 望 WATANABE Nozomi

2009年に多摩美術大学大学院美術研究科、2016年にUniversity for the Creative Arts, MA Fine Artを修了。主な展示に、2016年「PARALLAX」(The Brewery Tap Gallery、イギリス)、「Chariton Light Festival」(イギリス)、2014年「闇と闇の隙」(NADiff e/p/a/s/h - NADiff contemporary、東京)、2011年「所沢ビエンナーレ引込橋2011」(埼玉)など。インスタレーション、映像、写真、書籍などを用い、日常の微かな痕跡に注目し、それを巧妙に引き出すことで、繊細で詩的な作品へと変容させる。またその作品はしばしば周囲の環境や天体について言及しており、作品を介して鑑賞者は自分の置かれた場所について考えを巡らすことになる。
<http://watanabenozomi.com/>

1. 鈴木 泰人《色は、人。》2016 | 2. 星田 大輔《川とその他の流れ》2013 | 3. 村上 郁《電球都市》2015 | 4. 渡辺 望《OBSERVER》2016

4月29日(土祝)～6月4日(日)
12:00～19:00(金・土は20:00まで) | 火曜休場
<http://hikaruchikoku.com>

●オープニングパーティ&トーク

4月29日(土祝) 17:00～
株式会社灯工舎の灯工頭で美術照明家・光文化研究家の藤原工さんをお迎えして、クロストークを行います。

●クロージングパフォーマンス&トーク

6月3日(土) 15:00～
参加作家のグループとスペシャルゲストをお迎えして、今夜かぎりの特別な音と光のパフォーマンスを行います。その後、神奈川芸術文化財団学芸員の中野仁詞さんと共に、クロストークを行います。
市川 平 | 金刺 わたる | 久世 孝臣 | 鈴木 泰人 | 丸山 勝之

※イベントの様子はライブ配信します。※イベントの内容は変更になることがあります。最新情報はWebでご確認ください。

**AKIBA
YAMABI 21**

アキバタマビ21
〒101-0021 東京都千代田区外神田6-11-14
3331 Arts Chiyoda 201 - 202
電話: 03-5812-4558 | E-Mail: office@akibatamabi21.com
URL: <http://www.akibatamabi21.com>

アクセス
東京メトロ銀座線末広町駅4番出口より徒歩1分
東京メトロ千代田線湯島駅6番出口より徒歩3分
都営大江戸線上野御徒町駅A1番出口より徒歩4分
JR秋葉原駅南口より徒歩7分
JR秋葉原駅電気街口より徒歩8分



「アキバタマビ21」は多摩美術大学が運営する、若い芸術家たちのための作品発表の場である。ここは若い芸術家たちが、互いに切磋琢磨しながら協働し共生することを体験する場であり、他者と触れ合うことで自我の殻から脱皮し、既存のシステムや権威に依存することなく自らをプロデュースし自立していくための、鍛錬の場でもある——そうありたいという希望を託して若い芸術家たちにゆだねる、あり得るかもしれない「可能性」の場であり、その可能性を日暮していただく場所である。